

平成29年度 校内研究

1 研究主題

筋道を立てて考え、意欲的に表現しようとする児童の育成（1年次）
～算数科における「越河スタイル」の実践を通して～

2 主題設定の理由

- (1) 教育の今日的課題（OECDのPISA調査結果）から
思考力・判断力・表現力等を問う読解力や記述式問題，知識・技能を活用する問題に課題等
- (2) 本校の教育目標から
「コミュニケーション力を高め，自らの生き方を考える子どもの育成」
・しっかり聞き話す子ども ・豊かな心をもつ子ども ・健やかな体をもつ子ども
- (3) 本校児童の実態から
 - ① 教師の目から見た児童に不足している力
・文意を理解し必要な情報を取り出す力 ・筋道を立てて考える力 ・学習したことを活用する力
 - ② 全国学力・学習状況調査の結果分析
 - ③ CDT学力検査の結果分析から ・「数学的思考方」の不足
- (4) 昨年度までの研究から
・ 昨年は，算数科の研究2年目ということで，各学年とも「筋道を立てて表現できる子どもの育成」をめざして授業実践を試みた。その中で，各学年において児童にどのような力を身につけさせれば良いのかを模索してきた。今年度は，昨年までの研究成果を生かしながら，さらに具体的な手立てを確立させるよう研究を進め，3年目の区切りとして深めていきたい。
- (5) 保護者・地域の願い
・学校評価 ・学年懇談会での保護者の意見など

3 研究の目標

児童が主体的に学習に取り組む中で，筋道を立てて考えたことを表現することができ，学習理解を深められるようにするための指導の在り方を，算数科における実践を通して明らかにする。

4 研究の視点

視点1 課題解決の見通しを持ち，理論的に考え表現するための工夫

- ・既習事項を生かした課題解決への見通し
- ・言葉や数，式，図などを用いた自力解決

視点2 一人一人の考えを生かしながら理解を深めさせる集団解決の

- ・互いの考えの交流（共通点，相違点を見つける）
- ・発問の吟味

